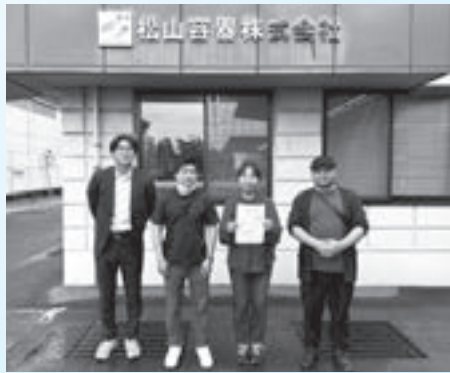


連合愛媛青年委員会・女性委員会
エコキャップの売却金を
NPO法人に寄付!

連合愛媛青年委員会・女性委員会では、SDGs(国連持続可能な開発目標)を達成しサステナブルな社会をつくるため、わたしたちの日頃の行動を今いちど見直してみることが求められていることから、エコライフ運動の一環として、「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでいます。

5月24日(土)に青年委員会・女性委員会の役員4名と事務局1名がペットボトルキャップ約60,000個(150kg)を(株)松山容器へ持参し、その売却益750円を開発途上国の子どもワクチン支援に役立てることを目的に「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄贈しました。



「エコキャップ運動」とは

ペットボトルのキャップを分別回収し、リサイクルを促進することにより、キャップの焼却時に発生する地球温暖化の原因となるCO₂を削減すると同時に、はずしたキャップの売却益でワクチンを購入し、世界の子どもたちの命を救おうという目的で始めました。

現在、リサイクルの過程で雇用を創出できることがわかり、①リサイクルの推進、②CO₂の削減、③売却益による発展途上国の医療支援、の3つに加え、障がい者・高齢者の雇用促進が4つ目の目的となっています。



[参考]

ポリオワクチン価格

ポリオ……………	約 20円
MMR……………	約 260円
B C G……………	約 30円
D P T……………	約 30円
B型肝炎ワクチン…	約 40円
五価ワクチン……	約 190円

連合愛媛が取り組むジェンダー
平等・多様性推進トッパーリーダー
による推進宣言について

UA ゼンセン

UA ゼンセンは、機関会議等の女性比率の向上などの初期の課題は確実に克服されつつあるものの、組合員の参加・参画という視点では次の課題がより顕在化している。①女性トッパーリーダー層の輩出が停滞 ②女性組合員の多くを占める短時間組合員の運動への参画度が地域や業種によって異なる ③活動を支える単組役員がほとんどが非専従であり、かつ後継者不足に苦慮している

まずは、これらの課題の本質を精査し構造を明らかにしていくと同時に、解決に向けて男女共同参画委員会やアイデアを出しながら実践も同時進行で積み重ねていくことが必要と感じている。そして「一人ひとりが人間らしく、心豊かに生きていく持続可能な社会」を目指して周知・定着に取り組んでいきたい。



長岡 英樹 支部長

基幹労連

私たちは、男女共同参画推進計画を策定し、性別にかかわらず、全ての働く者がワークライフバランスを実現するとともに、責任や権利・機会を平等に分かち合い、生き活きと働くことができる職場づくりを目指しています。

これからも、ものづくり産業で働く全員が個性と多様性を尊重し、皆がそれぞれの強みを発揮できる職場風土の醸成に積極的に取り組んでいきます。



岡本 武 委員長

JP 労組

日本社会はジェンダー・ギャップ指数(経済・教育・健康・政治の4分野の評価)では、146ヶ国中118位と先進国の中では長期に渡り、極めて低位にあります。

JP労組は、運動目標である「ジェンダー平等推進計画フェーズ2」の数値目標の達成に向け、全支部で取り組みを強化している最中にあります。

そのポイントとして、女性があらゆる運動に平等に参画し、組織として自らの組織の制度や慣行の見直し、何より一人ひとりの「行動」と「意識」を変えていくことに力を置いています。

連合愛媛の仲間みなさん、今こそ、ジェンダー平等を実現するため全組織で行動を始めましょう!



峰行一夫 執行委員長

自治労

自治労愛媛県本部は、2023年の定期大会において、本部分方針「自治労ジェンダー平等推進計画」をふまえ、組合におけるジェンダー平等参画にむけて、女性参画30%を「達成すべき目標」として設定し、LGBTQ+の差別解消にも取り組むこととしています。今後、アンコンシャスバイアスに基づく行動様式の脱却、女性参画率の向上、多様な性のあり方に基づく権利保障の立場から労働組合としての取り組みを積極的に進めます。



中塚 広之 執行委員長

電力総連

四国電力総連愛媛県連絡会では、「電力総連男女平等参画推進計画」で掲げた目標の達成に向け、各級機関と連携のもと、「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会における“人権が尊重される社会の実現”」を運動の両輪とした活動を展開していきます。

性別にかかわらず個性と能力を十分発揮し、均等に経済的、社会的利益を享受できる男女平等参画社会を目指します。



小川 剛 議長

電機連合

ジェンダー平等推進が持続可能な成長と社会の発展に不可欠であり、性別に関わらず、すべての人が公平に能力を発揮し、活躍できる職場環境を創出することを目指します。

社会のあらゆる場面で多様性を尊重し、偏見や差別を排除するための具体的な施策を実行するとともに対話を促進し、ジェンダー平等の価値を共有する文化を育みます。

わたしたち電機連合は率先して行動し、未来世代に誇れる公平な社会の実現を目指します。



中村 智也 議長

JAM

JAMは新男女平等参画アクションプランの実現に向け、女性参画率30%を目標に推進を行っていますが、諸会議の出席率は10%前後であり厳しい実績が続いております。JAMの女性組合員比率は10%程度であり女性参加比率向上には苦戦をしておりますが、長く続いた社会習慣を打破するためには当然時間は必要であります。我々組織のリーダーが粘り強く活動をしていく事が重要であり連合の仲間と共に活動を強化していきます。



泉 浩二 議長

情報労連

情報労連は、連合「ジェンダー平等推進計画」を踏まえ、「SOGIの尊重」を包含する「ジェンダー平等推進計画」を策定し、委員会の設置や推進体制の整備とともに、女性役員の定着と議決機関比率や三役への登用など、女性役員の育成強化も行なっています。

男女平等参画の実現に向け、創意工夫を地道に積み重ねていくことが重要との認識に立ち、トップのリーダーシップのもと組織の総力をあげてジェンダー平等推進の取り組みを進めます。



明石 晶博 議長

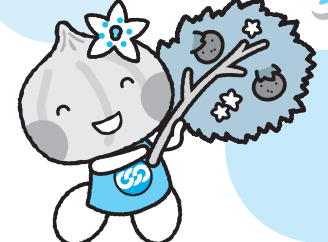
私鉄総連

LGBTQとは性の多様性であり、本来差別されるべきことではありません。

しかし実際は、年齢や地域に関わらず世界各地で人権侵害や差別を受けている現状があります。日本も例外ではなく、現在においても性的マイノリティの方々は家庭、学校、職場など、日常生活の様々な場面で生きづらさを感じています。全ての人が、お互いの人権や尊厳を大切にするによって、安心して生活することができると社会の実現に向け、意識を高めていかなければなりません。



宮崎 司 執行委員長

6月は
連合男女平等
月間だよ!

女性のための
8全国一斉集中
労働相談ホットライン

2025.6/10(土)~11(日) 10:00~18:00
TEL 0120-154-052 お近くの地方連合会に繋がります

労働相談ホットライン 0120-154-052
なんでも労働相談ホットラインは通年で受付しています。

連合愛媛 〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132-1 四国ろうきん松山ビル4F

東予地域協議会 0897-0025
中予・今治地域協議会 0892-0004
南予地域協議会 0895-0004

つくる! はいろう!
労働組合!

安心して働くために...みんなで力を合わせて職場を改善!

こんなとき、労働組合が活躍は...

職場の声を反映! 労働条件が向上!
賃金、労働時間、休日、残業時間などについて、労働組合が職場の声を反映した要求を出し、会社と対等に話し合っています。

職場の問題を共有! 職場の環境が改善!
職場の意見や課題を会社に伝え、職場全体の問題として会社と話し合うので、性別・雇用形態・国籍に関わらず職場の風通しが良くなり、みんなが働きがいをもって働けるようになります。

働きやすくなり! 雇用が安定!
労働組合の最も重要な役割は「雇用を守ること」。不当な解雇に立ち寄り、ときには労働組合が会社と交渉し、雇用と生活を守ります。

日本労働組合総連合会(連合)
まずは連合にご相談を!
TEL 0120-154-052